

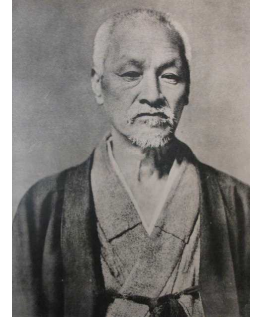
名前：_____

☆秋田県の偉人「石川理紀之助」とは、どんな人だったのか

理紀之助の物語を見て学習しましょう。

《少年期》

- 理紀之助は幼^{おきな}いころから、勉強をすることや（ ）
ことが好きでした。
- 人がまだねむっている（ ）ころに起きて本を読んで
いました。
- 村の青年たちと（ ）という研^{けんきゅうかい}究会をつく
りました。

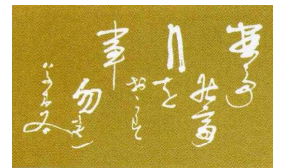


《今も続く理紀之助の業^{ぎょうせき}績》

- その年のよい（ ）や（ ）を見せ合ったり交^{こうかん}換し合ったりして、お
互いの農業に役立てる（ ）を始めました。百年以上経^たった現在
も続けられており、毎年県内各地持ち回りで開^{かいさい}催されています。

《農村を救^{すく}うために行ったこと》

- 山田村の借^{しゃっきん}金を返すために村人に（ ）を進め
ました。
- 米を多くとるために、草刈りをさせて（ ）をつくり、冬のうちに
田んぼにまくようにさせました。
- 明治22年に（ ）で小さな小屋に住み、自^{みずか}ら田畑を耕してどうすれ
ば小作農^{こさくのう}の人たちが豊^{ゆた}かな暮^くらしができるか研^{けんきゅう}究しました。
- 大^{だい}凶^{きょう}作で農民の暮^くらしが苦しくなると村々をまわり（ ）を植えさ
せたり野草の食^{やそう}べ方を教^{しどう}えたりして指導しました。
- 田・畑・林・など土地^{ようす}の様子や村の生活・人口などを調^{しら}べて、村が豊かになるよう
に進むべき道^{みちすじ}筋を示す（ ）を行いました。
- 秋田県（ ）村や宮崎^{みやざきけん}県（ ）村などたくさんの村で農^{のう}村^{そん}
の救^{きゅうさい}済と指導のために力を尽くしました。



《理紀之助の残した言葉》

。「 _____ 」

意味：自分は動かないで、他人に事をやらせてはいけない。

つまり（ _____ ）ということ。

自分なりに意味を考えてみよう！

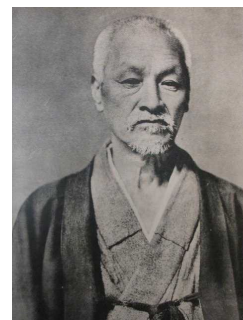
名前：_____

☆秋田県の偉人「石川理紀之助」とは、どんな人だったのか

理紀之助の物語を見て学習しましょう。

《少年期》

- 理紀之助は幼おきないころから、勉強をすることや（**本を読む**）ことが好きでした。
- 人がまだねむっている（**午前2時**）ころに起きて本を読んでいた。
- 村の青年たちと（**農業耕作会**）という研けんきゅう究会をつくりました。

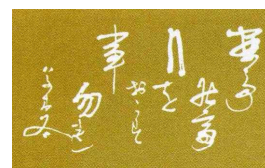


《今も続く理紀之助の業ぎょう績せき》

- その年のよい（**種子**）や（**苗**）を見せ合ったり交こう換かんし合ったりして、お互いの農業に役立てる（**種苗交換会**）を始めました。百年以上経たった現在も続けられており、毎年県内各地持ち回りで開かい催さいされています。

《農村を救すくうために行ったこと》

- 山田村の借しゃ金きんを返すために村人に（**早起き朝仕事**）を進めました。
- 米を多くとるために、草刈りをさせて（**堆肥**）をつくり、冬のうちに田んぼにまくようにさせました。
- 明治22年に（**草木谷**）で小さな小屋に住み、自みづから田畑を耕してどうすれば小作農の人たちが豊ゆたかな暮くらしができるか研けん究きゅうしました。
- 大凶作で農民の暮らしが苦しくなると村々をまわり（**馬鈴薯**）を植えさせたり野草の食べ方を教えたりして指導しました。
- 田・畑・林・など土地の様子や村の生活・人口などを調しらべて、村が豊かになるように進むべき道筋を示す（**適産調**）を行いました。
- 秋田県（**強首九升田**）村や宮崎県（**谷頭**）村などたくさんの村で農村の救きゅう済さいと指導のために力を尽くしました。



《理紀之助の残した言葉》

「**寝ねて居いて人をおこすこと勿なかれ**」

意味：自分は動かないで、他人に事をやらせてはいけない。

つまり（ ）ということ。



自分なりに意味を考えてみよう！